科目ナンバー	יטט כ כוו ון	·sn		科目名	地域史研究				
教員名	野口 華世			開講年度学期			単位数	2	
概要	・群馬県の歴 ・本学周辺の	・群馬県の歴史を通して、日本史を具体的に学ぶ。 ・本学周辺の地域の歴史や地形を具体的に学ぶ。							
到達目標	・群馬県見学を ・現地文書に ・ディスカッシ る。 ・大は様々な ・上記をふま	<ul> <li>・群馬のことを知り、群馬をより好きになる授業でもある。</li> <li>・群馬県の歴史や風土、その特色を知る。</li> <li>・現地見学をおこない、歴史を身近に体験する。</li> <li>・古文書に親しむ。</li> <li>・ディスカッションや発表(プレゼン)を通して、自分の考えを発表し、他の人の意見を理解する力をつける。</li> <li>・大学周辺や自分の地元の歴史や史跡について、自信をもって話したり叙述したりできるようになる。これは様々な社会のなかで有効なツールでもある。</li> <li>・上記をふまえ、的確な日本語を用いて「地域史」を自分なりに叙述できるようになる、ということが到達目標である。</li> </ul>							
「共愛12の力」と	の対応	1		1		1			
識見	1	自律する力		コミュニケーションカ		問題に対応する力			
共生のための知		自己を理解する力		伝え合う力	0		思考する力	0	
共生のための態		自己を抑制する力		協働する力	0	構想し、	実行する力		
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	<b>5カ</b> 〇	実践的ス	マキル		
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前	について話 ・史跡見学 ・古文書(く ・授業をより ング ・授業の「到	・授業の「現地見学(フィールドワーク)」は本学のマイクロバスを利用するので、受講人数の制限をお							
	・特に「現地見学(フィールドワーク)」を重視しているので、見学予定日には必ず出席できること。 ・「群馬の産業と社会」・川」「群馬の人と思想」「日本史概説」「日本近代史」をあわせて履修することで、野解が深まる。 ・定期試験時のレポート(40%)、現地見学後のレポート・課題・発表(40%)、授業への取り組み姿勢を						、数の制限を	お	
アセスメントポリ	提・特に「現地・「群馬のを解が深まる・・定期試験	名を予定している。 也見学(フィールドワー 音業と社会I・II」「群馬 。 時のレポート(40%)	の人と思想 、現地見学	しているので、 身」 」「日本史概説」 後のレポート・課	見学予定日( 日本近代史	こは必ず出席で	できること。 覆修すること	で、理	
科目 アセスメントポリ シー及び評価方 教材	###	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会I・II」「群馬 。。	の人と思想、現地見学に評価する	しているので、『 」「日本史概説」 後のレポート・課 。	見学予定日( 日本近代虫 題・発表(40	こは必ず出席で と」をあわせて原 O%)、授業への	できること。 覆修すること の取り組み姿	で、理 勢を	
アセスメントポリ シー及び評価方	提・特に「現地では、 ・特は「現地では、 ・特に「現地では、 ・一般では、 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会・川」「群馬 。。 時のレポート(40%) き点(20%)で総合的	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	こは必ず出席で と」をあわせて原 0%)、授業への こなうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を	
アセスメントポリシー及び評価方教材	提・特に「現地 ・特に「現地 ・特に「現地 ・学校をはない。」 ・野のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会・川」「群馬 ら。 時のレポート(40%) な点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書房新 こみとく群馬の歴史』」 と 通史編』群馬県、1 女書選』吉川弘文館、	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	こは必ず出席で と」をあわせて原 0%)、授業への こなうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を	
アセスメントポリシー及び評価方 教材 参考図書	提・特に「現地 ・特に「現地 ・特に「現地 ・学校をはない。」 ・野のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会・川」「群馬 ら。 時のレポート(40%) な点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書房新 こみとく群馬の歴史』」 と 通史編』群馬県、1 女書選』吉川弘文館、	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	こは必ず出席で と」をあわせて原 0%)、授業への こなうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を	
アセスメントポリ シー及び評価方 教材 参考図書 内容・スケジュー 1週目	提・特に「現地 ・特に「現地 ・特に「現地 ・学校をはない。」 ・野のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会・川」「群馬 ら。 時のレポート(40%) な点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書房ま こみとく群馬の歴史』 と 通史編』群馬県、1 文書選』吉川弘文業でも 参考文献は授業でも	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	こは必ず出席で と」をあわせて原 0%)、授業への こなうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を	
アセスメントポリ シー及び評価方 教材 参考図書 内容・スケジュー 1週目 授業学修内容 授業外学修内	提・特に「現場」を表する。 ・特は、「現場」を表する。 ・特に「現場」を表する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会I・II」「群馬 ら。 時のレポート(40%) き点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書戻』 この歴史』 にの歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 にのせた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたたたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたた。	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	こは必ず出席で と」をあわせて原 0%)、授業への こなうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト 1997年	で、理 勢を は	
アセスメントポリシー及び評価方数材 参考図書 内容・スケジュー1週目 授業学修内容 授業外学修内容	提・特に「現場」 ・特は「現場」 ・特は「現場」 ・特は「現場」 ・一学をは、一学をは、一学をは、一学をは、一学をは、一学をは、一学をは、一学をは、	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会I・II」「群馬 ら。 時のレポート(40%) き点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書戻』 この歴史』 にの歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 にのせた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたたたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたた。	の人と思想 、現地見学に に評価する く・史料・資料 (持っている 所社、1989 山川出版社 989年~1 1971年~	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	には必ず出席では」をあわせている。 の%)、授業へので、指 になうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を は	
アセスメントポリ シー及び評価方 教材	提 ・特に「現成 ・特に「現成 ・特に「現成 ・特に「現成 ・特に「現域 ・特に「日図史群演の ・『『との ・『『との ・『『の ・『『の ・『『の ・『『の ・『『の ・	名を予定している。 也見学(フィールドワー 産業と社会I・II」「群馬 ら。 時のレポート(40%) き点(20%)で総合的 成のプリント(レジュン フアーカイブ』とうほう 馬の歴史』河出書戻』 この歴史』 にの歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この歴史』 この世史』 にのせた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのせたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたたたたた。 にのせたたた。 にのせたた。 にのせたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたた。 にのをたたたた。 にのをたたた。 にのをたた。	の人と思想 、現地価は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	しているので、 J「日本史概説」 後のレポート・課 はなど)を使用し み人は授業時に持 年 、2007年・『群馬 992年	記学予定日に 日本近代史 題・発表(40 て授業をおる 参すること)	には必ず出席では」をあわせている。 の%)、授業へので、指 になうので、指	できること。 覆修すること の取り組み姿 定のテキスト	で、理 勢を は	

容	えてレポートを書く。		1
3週目			
授業学修内容	「大室古墳群」(事前学習)、「群馬の古代」(グループワークを含む)		
授業外学修内	準備学習として「大室古墳群」や「群馬の古代」についての参考文献を参照する	時間数	1
容	。振り返りとして、授業内容を復習する。		
4週目			
授業学修内容	現地見学(フィールドワーク) その1 (大室古墳群)		
授業外学修内 容	振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	「大室古墳群」 事後学習 (グループワークを含む)		
	振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。	時間数	0.5
6週目	•	I	I
授業学修内容	「大胡城址」(事前学習)、「群馬の中世」(グループワークを含む)		
授業外学修内	準備学習として「大胡城址」や「群馬の中世」についての参考文献を参照する。		
容	振り返りとして、授業内容を復習する。	時間数	1
7週目	•	•	
授業学修内容	現地見学(フィールドワーク) その2(大胡城址)		
授業外学修内 容	振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。	時間数	2
<del></del> 8週目			
授業学修内容	「大胡城址」事後学習(グループワークを含む)		
授業外学修内 容	振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。	時間数	0.5
台 9週目			
ジピロ  授業学修内容	「大室民家園」(事前学習)、「群馬の近世」(グループワークを含む)		
过 <u>業</u> 手修內苷 ———— 授業外学修内	「八至氏家園」「事前子自八「軒馬の近世」(クルーノソークを含む) 準備学習として「大室民家園」や「群馬の近世」についての参考文献を参照する		
这来乃于修约 容	。振り返りとして、授業内容を復習する。	時間数	1
 10週目	<u> </u>	I	<u> </u>
授業学修内容	現地見学(フィールドワーク) その3(大室民家園)		
授業外学修内 容	振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。	時間数	2
<u></u> 11週目	1		
	「大室民家園」事後学習(グループワークを含む)		
及来于廖竹 <u>帝</u> 授業外学修内			
容	振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。	時間数	0.5
12週目	1		
授業学修内容	古文書読解 その1一近世の古文書を読む一	1	
授業外学修内	準備学習として配布された古文書プリントを読んでみる。振り返りとして授	時間数	1
容 1 2 週 日	業で読んだ古文書を復習する。		
13週目 	上 <del> </del>		
授業学修内容	古文書読解 その2―中世の古文書を読む―		
授業外学修内 容	準備学習として配布された古文書プリントを読んでみる。振り返りとして授業で読んだ古文書を復習する。	時間数	1
<del></del> 14週目	1	_1	l
	自分の地元の史跡を発表しよう(プレゼンテーション)		
发来了停门 <u>。</u> 授業外学修内	プレゼンテーション用のパワーポイントあるいはレジュメの作成をする。レ		
ヘヘイ コラゴ	ポートを作成する。	時間数	3
容	1, C. L. 187 2, 200		

授業学修内容	ある。						
授業外学修内 容	レポートを作成する	時間数	4				
上記の授業外	を修門の合計 21						
その他に必要な	その他に必要な自習時間						
Number	HIS-3-007-sn Subject Local History Studies						
Name	野口 華世(Noguchi Hanayo)		Second semester for 2020	Credits	2		
Course utline	0 #NAME?						